

<水球陣>東日本リーグ第2戦

H25.3.2 対プロミネンス @慶應大学日吉キャンパス

全東大	0	5	1	2	計8
プロミネンス	2	2	4	6	計14

得点者：下東さん（2）、横山さん（4）、浪間（2）

対戦相手のプロミネンスは、アマチュア社会人チームでは三建に次ぐ、非常に実力のあるチーム。強豪大学でならした選手たちが揃っている。個々の実力では相手が上だが、チームワークで勝利を目指す！

第1ピリオド

浪間がセンターボールを取り、第1ピリオドが始まった。全東大は、フローターである横山さんを中心とした攻めを見せるが、パッサーと横山さんの息が合わず、上手く攻めきることができない。それに対し、相手は個人技での攻めを見せる。試合は開始から数分、両チームとも得点のない硬直した展開を見せるが、ディフェンスの緩みを突かれ、プロミネンスにフローティングからの先制点を許してしまった。その後も全東大側はペースを掴みず、退水から再び失点。0-2で第1ピリオドを終えた。

第2ピリオド

第2ピリオドから、全東大の反撃が始まる。その端緒となったのは浪間。開始30秒で、キーパーの頭上を抜く鮮やかな5mシュートを決める。その後、横山さんが相手バックを回し込み豪快に得点。その直後、プロミネンスにループシュートを決められるものの勢いは止まらない。ド抜けで横山さんが再度得点。そして、退水セットから、下東さんが得点する！その後プロミネンスにカウンターから1点を献上するが、直後の攻めで横山さんが再びフローティングからシュートを決め、このピリオドを5-2、トータルでは5-4で前半を折り返した。

第3ピリオド

第3ピリオドが始まった。開始数分は、硬直した展開。しかし、その展開を打開したのは全東大。退水を誘発しタイムアウトを取り、確実に1点を狙った。退水セットから下東さ

んが鮮やかなシュートを決め、ピリオド先制点を奪う。流れは全東大にある！と思われたが、ここからプロミネンスの猛反撃が始まった。退水セットやカウンターから、連続して4失点を許してしまった。ピリオド1-4。最終ピリオドにすべてを賭ける。

第4ピリオド

勝つためにはどうしても先制点が欲しい全東大。しかし、第3ピリオドの流れは続いていた。開始から、プロミネンスに4連続得点を許す。そしてバック大脇の永久退水も加わり、流れは完全にプロミネンス側。横山さんが三宅さんとの2-1カウンターで得点するものの、直後に再び失点を許してしまう。何とか流れを変えたい。その後浪間がミドルシュートを決め、食い下がる姿勢を見せるものの、再び失点を許し、ゲームセット。ピリオド2-6、トータルで8-14で試合を終えた。

6点差をつけられての敗北となった。ディフェンスは全体としてよくできていたが、相手のペースにのまれオフェンスが重要なところで攻めきれなかった。特に2ピリオド目以降は、1得点してもすぐ取り返され波に乗り切れず、失点に対しての得点が少なかった。監督をして下さった井出さん、試合に出て下さった堀江さん、三宅さん、有吉さん、下東さん、横山さん、見に来て下さった只野さん、ありがとうございました。

(文責 浪間新太)